

令和6年産 農産物生産費（組織法人経営体）

調査票（様式）

秘  
農林水産省

統計法に基づく基幹統計  
農業経営統計



政府統計  
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

# 農業経営統計調査

## 〇年産 米生産費統計調査票

### (組織法人経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。  
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

**【記入上の留意事項】** ◇オンライン調査も可能です。

- 〇年産の米生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。  
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「食用米（※1）の生産コスト」を把握する調査です。  
調査票には、「〇年産の食用米の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等」について記入をお願いします。

※1 食用米とは  
食用に供する水稲のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。）

※2 この調査での食用米の生産とは  
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

### 【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。  
食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「8ha」、小麦「2ha」の作付地に施肥した場合

例1 食用米に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米負担割合 (%)
窒 素 質 肥 料	8 0 0	8 0 0 0 0	1 0 0

食用米負担割合には100%と記入

例2 食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法  
食用米と小麦の作付面積割合「8：2」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米負担割合 (%)
窒 素 質 肥 料	1 0 0 0	1 0 0 0 0 0	8 0

食用米負担割合には80%と記入

### 【食用米負担割合の設定方法】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。

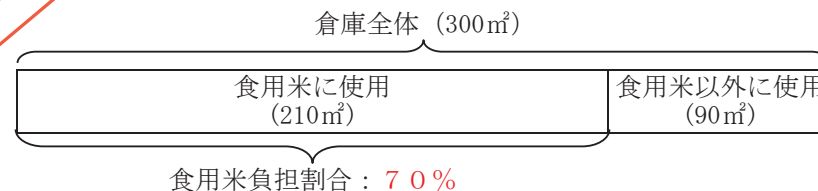
#### （1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は70%  
(210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



#### （2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は40%  
(80時間÷200時間×100) になります。

# 調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 .....	3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、食用米生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況 .....	5
食用米、稲わら及びふるい下米等の販売状況等について記入してください。	
【3】 食用米の生産のために使用した資材等 .....	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担 .....	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費 .....	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 .....	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 .....	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 .....	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 .....	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 .....	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代 .....	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間 .....	15
構成員、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

## 【1】 経営の概況

### 1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）		借入地（a）	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

### 2 構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	人 数 等	単 位
構 成 員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者		人
農 業 年 雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		人
構 成 農 家 世 帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。例えば、同じ農家世帯から出資者が2名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「1」戸になります。

### 3 認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。  
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

### 4 稲作主体の経営

1年間における農産物総販売金額の中で、稲作販売金額が1位でしたか。  
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

### 5 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における食用米の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、**食用米**（食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めません。

【1】経営の概況（続き）

6 移植・直まき面積

食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)	
移 植	ha	a
直 ま き		

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

7 飼料用米作付面積

当年産に飼料用米の作付けがあった場合は、その作付面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)	
飼料用米作付面積	ha	a

注：WCS用稲は含めないでください。

8 水稲作付ほ場規模別枚数及び面積

食用米を作付けたほ場の規模別枚数及び合計面積を記入してください。

区 分	ほ場枚数 (枚)	面 積 (a)
未 整 理 又 は 10a 未 満		ha a
10a ~ 20a 区 画		
20a ~ 30a 区 画		
30a ~ 50a 区 画		
50a ~ 1 ha 区 画		
1 ha 以上 区 画		

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

9 田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区 分	団地数等	
田 の 団 地 数	団地	
区 画 積 割 理 合 済 み	50%未満	①
	50 ~ 80 %	②
	80 % 以上	③

団地とは、田を含む地続きの耕地の一区をいいます。ただし、地続きの耕地の一区が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

10 ほ場間の距離及び団地への平均距離

食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区 分	距 離 (km)
ほ 場 間 の 距 離	km
団 地 へ の 平 均 距 離	

ほ場間の距離とは、2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が1つの場合は記入不要です。

団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

11 食用米生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、育苗から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。乾燥・調製は、玄米の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区 分	数 量		単 位
全 作 業	ha	a	a
耕うん・整地			a
育 苗			a
田 植			a
防 除			a
刈 取・脱 穀			a
乾 燥・調 製	万	千	kg

(2) 委託作業別の状況

区 分	数 量		単 位
育 苗	ha	a	a
防 除			a

12 食用米（うるち米）の品種別作付面積

当年産に作付けた食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)	区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		ha a	品 種 6		ha a
品 種 2			品 種 7		
品 種 3			品 種 8		
品 種 4			品 種 9		
品 種 5			品 種 10		

13 制度受取金等の状況

当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

## 【2】生産物の販売等の状況

### 1 食用米の販売状況等（玄米換算）

当年産の食用米の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。  
 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)				金額 (円)				
		万	千	百	十	万	千	百	十	
販売用 (予定を含む)	主食用 (計)									
		主食用米として販売された米 (いわゆる縁故米、贈答米、 産直米、政府備蓄米、新規需 要米のうち酒造用米、輸出用 米を含む。) 及びその種子								
	加工用 (計)									
	加工用として販売された米 (加工用米、米粉用米) 及び その種子									
	区分出荷									
組織内消費	種子用	種子用に仕向けた (予定を含 む。) もの								
	飯米用	飯米用に仕向けた (予定を含 む。) もの								
	その他	種子用、飯米用以外に仕向 けた (予定を含む。) もの								

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

### 2 稲わら、ふるい下米等の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、ふるい下米等及びもみがらの販売状況等について記入してください。  
 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

#### (1) 稲わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販売用	加工品等		
	民芸品、なわ等の原料仕向けのもの		
組織内消費	その他 (肥料、飼料、敷料等)		
	飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの (きゅう肥交換を含む。)		
組織内消費	生わら		
	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの (無評価)		
組織内消費	乾燥わら		
	収納された稲わらで、自家仕向けのもの (水田還元、敷料、たい肥等)		
組織内消費	その他 (焼却、放棄)		
	焼却、放棄 (無評価)		
計		100	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

#### (2) ふるい下米等及びもみがら

ふるい下米等及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合 (%)	販売用	組織内消費	その他 (廃棄等)
ふるい下米等	100			
もみがら	100			

ふるい下米等及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他 (廃棄等)」の各割合を記入してください。(販売用、組織内消費、その他 (廃棄等) の合計が100となります。)

区分	販売金額 (円)
ふるい下米等	
もみがら	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産の水稲栽培の特徴

- 1 作柄概況
- 2 被害の状況や品質
- 3 栽培状況の変化
  - (1) 新たな品種の導入
  - (2) 直まき栽培の導入
  - (3) 新たな設備・機械の導入
  - (4) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【3】食用米の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1) 種子

品 種 名 等	数 量 (kg)				金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	万	千	百	十	
(計)									
購 入									
自 給									

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 苗

品 種 名 等	植 え 付 け た 面 積 (a)		金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	ha	a	万	千	百	十	
(計)							
購 入							

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

資材名等	数量（kg）	金額（円）	食用米負担割合（%）	備考欄
窒素質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
りん酸質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
カリ質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
けい酸質肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
炭酸カルシウム（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		炭酸カルシウムには石灰を含みます。 なお、融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料（計）	万 千 百 十	万 千 百 十		
土壌改良資材		万 千 百 十		微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥	万 千 百 十			
その他				

2 肥料費（続き）

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

資材名等	数量（kg）	食用米負担割合（%）
自給 たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

- 注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。  
注2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、黄色の欄に記入してください。なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	食用米負担割合（%）	備考欄
殺虫剤（計）	万 千 百 十		
殺菌剤（計）	万 千 百 十		
殺虫殺菌剤（計）	万 千 百 十		
除草剤（計）	万 千 百 十		
その他	万 千 百 十		殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

- 注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。  
注2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費」の「その他」に記入してください。

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

4 光熱動力費

当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米負担割合（%）
動 力 燃 料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電 力 料			-		
そ の 他 (水道料、木炭などの燃料)			-		
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は100（%）としてください。  
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

5 諸材料費

当年産の食用米生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米負担割合（%）
購 入	育苗用土（素土含む。）		kg		
	そ の 他（計）				
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上）、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

6 賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。

・食用米のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

料 金 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米負担割合（%）
共 同 負 担 金	薬 剂 散 布		-		
	共 同 施 設		-		
	共 同 苗 代		-		
農 機 具 借 料			-		
航 空 防 除 賃			ha		
賃 耕 料			a		
は 種 ・ 田 植 賃			a		
収 穫 請 負 せ 賃			a		
ラ イ ス セ ン タ ー 費			kg		
カ ン ト リ ー エ レ ベ ー タ ー 費			kg		
上 記 以 外 の 乾 燥 ・ 調 製 委 託 料			kg		
そ の 他			-		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。  
 注2：ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

#### 【4】物件税及び公課諸負担

##### 1 物件税

1年間に負担した食用米生産に関する物件税について記入してください。

区 分	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
固定資産税 (建物)	万 千 百 十	
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。  
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税(農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

##### 2 公課諸負担

1年間に負担した食用米生産に関する公課諸負担について記入してください。

区 分	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
集落協議会費 (地域集落等の会費)	万 千 百 十	
農業協同組合費		
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)		
農業共済組合賦課金		

・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。  
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

#### 【5】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。

##### 1 土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額(円)		食用米 負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他(整地、表土 扱いのない事業)			

・食用米のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。  
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

##### 2 水利費等

費用名	食用米作付ほ場 負担金額(円)	食用米 負担割合 (%)
水利組合費	万 千 百 十	
揚水ポンプ組合費		
その他		

・食用米のみの生産に関する金額を記入する場合は、100(%)としてください。  
・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

#### 【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資金名(用途)	調査開始時 未償還残高(円)	支払利子額(円)	食用米 負担割合 (%)
短期借入金	万 千 百 十	万 千 百 十	
(計)			
長期借入金	万 千 百 十	万 千 百 十	
(計)			
買掛未払金	万 千 百 十	万 千 百 十	

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。  
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄に「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。  
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用  
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用  
 ・建物の電灯や電球の交換費用  
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤強化準備金 (円) <small>建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該建物等の修繕費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。</small>	食用米負担割合 (%)	年内異動状況		
						年(西暦)	月						異動コード	異動に伴う発生金額 (円) <small>売却金額、取り壊しの金額</small>	
						年	月	万	千	百	十	万	千	百	十
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															



種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物 (1住宅) ~ (13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック	11	造
構築物 (14稲架) ~ (31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。  
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用时间割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金を控除した額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料 （円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税 （円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		食用米負担割合（%）	年内異動状況	
						年（西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																



種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。  
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。  
・農業機械の修繕、整備費用、部品代  
・パソコン等の修理費用、部品代 など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） <small>（購入金額から補助金を控除した額を記入してください。）</small>	農業経営基盤 強化準備金 （円） <small>（農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。）</small>	修繕費 （円） <small>（当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）</small>	保険料 （円） <small>（当年の当該農業機械の保険料を記入してください。）</small>	軽自動車税 （円） <small>（当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		食用米負担割合（%）	年内異動状況	
						年（西暦）	月						自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） <small>（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	



種類コード	
1	電動機
2	発動機
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
12	電熱育苗機
13	田植機
15	揚水ポンプ
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
19	バインダー
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
32	もみすり機
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満	(31 乾燥機)	4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上	1 静置式	5 その他・耐用年数7年
(13 田植機)	2 循環式	上記以外の農機具
1 2条植		6 その他
2 3～5条植		
3 6～7条植		
4 8条植以上		

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

**【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等**

当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名 称 等	金 額（円）				食用米 負担割合 （%）	内 容 例 示
	万	千	百	十		
(計)						
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名 称 等	金 額（円）				食用米 負担割合 （%）	内 容 例 示
	万	千	百	十		
(計)						
生 産 管 理 関 係 の 費 用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料



【11】土地の面積及び地代

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、  
 ・食用米のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。  
 ・食用米以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、食用米と食用米以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に食用米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が食用米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。

$$\frac{\text{食用米400万円}}{\text{食用米400万円} + \text{小麦400万円}} \times 100 =$$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けした所有地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、  
 ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米以外にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

2 借入地

(1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けした借入地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)			食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)			食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	
1									
2									
3									

**【12】作業別労働時間**

当年産の食用米生産における主な作業時間（受託による作業時間は含みません。）について記入してください。  
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。  
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

**1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間**

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。  
 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業											育苗
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り											耕起整地
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入											基肥
直まき	直まき、覆土に係る労働											直まき
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け											田植
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布											追肥
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき											除草
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

**2 食用米の田植、収穫期間**

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区分	開始日			終了日		
田植	月	日	日	月	日	日
収穫	月	日	日	月	日	日

**3 支払賃金**

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	食用米負担割合（%）
合計	万 千 百 十	

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。



調査にご協力いただき、ありがとうございます。  
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦（※1）の生産コスト」を把握する調査です。  
調査票には、「〇年産の小麦の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等」について記入をお願いします。

※1 小麦とは  
食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈り目的で栽培している小麦は含みません。）

※2 この調査での小麦の生産とは  
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

### 【調査票の記入方法（小麦負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。  
小麦と水稻を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「2ha」、水稻「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	小麦負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

小麦負担割合には100%と記入

例2 小麦、水稻に施肥した数量、金額の合計を記入する方法  
小麦と水稻の作付面積割合「2：8」を目安に小麦負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	小麦負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	100000	20

小麦負担割合には20%と記入

### 【小麦負担割合の設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

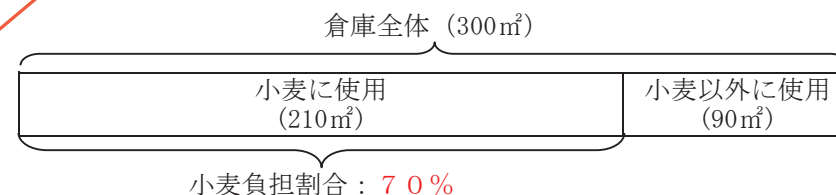
#### （1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



#### （2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

# 調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 .....	3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、小麦生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況 .....	5
小麦の品質・用途別、麦わら及びふるい下麦等の販売状況等について記入してください。	
【3】 小麦の生産のために使用した資材等 .....	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライセンスター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担 .....	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費 .....	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 .....	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 .....	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 .....	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 .....	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 .....	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代 .....	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間 .....	15
構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

## 【1】 経営の概況

### 1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

### 2 構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	人 数 等	単 位
構 成 員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者		人
農 業 年 雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		人
構 成 農 家 世 帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。例えば、同じ農家世帯から出資者が2名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「1」戸になります。

### 3 認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。

該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

### 4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における小麦の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、食用だけでなく、種子用を含めた小麦です。青刈り目的で栽培している小麦は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 小麦生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
全 作 業	.....ha.....a.....	a
耕うん・整地	.....ha.....a.....	a
は 種	.....ha.....a.....	a
防 除	.....ha.....a.....	a
刈取・脱穀	.....ha.....a.....	a
乾 燥 ・ 調 製	.....万.....千.....百.....十.....	0 kg

(2) 委託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
耕うん・整地	.....ha.....a.....	a
は 種	.....ha.....a.....	a
防 除	.....ha.....a.....	a
刈取・脱穀	.....ha.....a.....	a
乾 燥 ・ 調 製	.....万.....千.....百.....十.....	0 kg

6 小麦の品種別作付面積

当年産に作付けした小麦の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		.....ha.....a.....
品 種 2		.....ha.....a.....
品 種 3		.....ha.....a.....
品 種 4		.....ha.....a.....
品 種 5		.....ha.....a.....

注：面積の合計が当年産の小麦作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産の小麦に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	.....万.....千.....百.....十.....	.....万.....千.....百.....十.....

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

当年産の小麦栽培の特徴

- 1 作柄概況
- 2 被害の状況や品質
- 3 栽培状況の変化
  - (1) 新たな品種の導入
  - (2) 新たな設備・機械の導入
  - (3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【2】生産物の販売等の状況

1 小麦の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

1等、2等、規格外A及びBについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)	金額 (円)	
販売用 (予定を含む)	1 等 (計)			
		農産物検査において「1等」と判定されたもの		
	2 等 (計)			
		農産物検査において「2等」と判定されたもの		
	規格外 A (計)			
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの		
	規格外 B (計)			
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの		
	規格外 C	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの		
	その他	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの		
組織内消費	食用	食用に仕向けた(予定を含む。)1・2等、規格外Aのもの		
	種子用	種子用に仕向けた(予定を含む。)もの		
	規格外 B	組織内に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちBランクのもの		
	規格外 C	組織内に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちCランクのもの		
	その他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた(予定を含む。)もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 麦わら、ふるい下麦等の販売状況等

当年産の小麦生産で発生した、麦わら及びふるい下麦等の状況について記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1) 麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販売用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		
組織内消費	販売していない麦わら全般		
	うち無評価分 刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		100	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

(2) ふるい下麦等

ふるい下麦等について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合 (%)	数量の割合 (%)		
		販売用	組織内消費	その他 (廃棄等)
ふるい下麦等	100			

ふるい下麦等の総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他(廃棄等)」の各割合を記入してください。(販売用、組織内消費、その他(廃棄等)の合計が100となります。)

区分	販売金額 (円)
ふるい下麦等	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自由記入欄

### 【3】小麦の生産のために使用した資材等

#### 1 種苗費

当年産の小麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

#### (1) 種子（購入）

品 種 名	数 量	金 額（円）	
		単 位	
計		—	万円 千円 百円 十円

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

#### (2) 種子（自給）

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の小麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。  
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				小麦負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
(炭酸カルシウムを含む)								
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。

微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	小麦負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。  
注2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	小麦負担割合（%）	備考欄
計			
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌殺虫剤			
除草剤			
その他			

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。  
注2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産の小麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）
購入（計）			—		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
	電力料		—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産の小麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）
購入（計）			—		
自給					

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・小麦のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・小麦以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）
計			—		
共同負担金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬も含めて記入してください。  
 注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

#### 【4】物件税及び公課諸負担

##### 1 物件税

1年間に負担した小麦生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 ( 円 )	小麦 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：  
**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：  
**機械等の使用時間割合**

##### 2 公課諸負担

1年間に負担した小麦生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 ( 円 )	小麦 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：  
**農業収入全体のうち小麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：  
**作付面積割合**

#### 【5】土地改良及び水利費

当年産の小麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

##### 1 土地改良区費

事業種類	小麦作付ほ場負担金額 (円)		小麦 負担割合 (%)
	維持負担金	償 還 金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土 扱いのない事業)			

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、小麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

##### 2 水利費等

費用名	小麦作付ほ場 負担金額 (円)	小麦 負担割合 (%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

#### 【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみの生産に係る金額を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・小麦以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	小麦 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借 入 金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。  
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。  
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用  
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用  
 ・建物の電灯や電球の交換費用  
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）として ください。  
 ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	小麦負担割合 （%）	年内異動状況	
						年 （西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） 売却金額、取り壊しの金額
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														



種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
9	鉄骨	10	骨格材の肉厚3mm以下
10	鉄骨	11	骨格材の肉厚3～4mm
11	鉄骨	12	骨格材の肉厚4mm以上
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
2		3	木造
3		4	土管
4		5	合成樹脂
5		6	塩化ビニール
6		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。  
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～  
 「小麦負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両のみ。）の掛金を記入してください。

- ・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動車等の保険料を記入してください。</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		小麦負担割合 (%)	年内異動状況		
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠償保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>	
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	



種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車 (ダンプ式)
3	普通自動車 (ダンプ式以外)
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。  
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄に「小麦負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。  
・農業機械の修繕、整備費用、部品代  
・パソコン等の修理費用、部品代 など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） <small>購入金額から補助金を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤強化準備金 （円） <small>農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 （円） <small>当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。</small>	保険料 （円） <small>当年の当該農業機械の保険料を記入してください。</small>	軽自動車税 （円） <small>当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		小麦負担割合（%）	年内異動状況	
						年（西暦）	月						自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） <small>（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	



種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

**【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等**

当年産の小麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
 ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名 称 等	金 額 ( 円 )				小麦 負担割合 (%)	内 容 例 示
	万	千	百	十		
(計)						
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名 称 等	金 額 ( 円 )				小麦 負担割合 (%)	内 容 例 示
	万	千	百	十		
(計)						
生 産 管 理 関 係 の 費 用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料



【11】土地の面積及び地代

当年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、  
 ・小麦のみ作付けた団地（ほ場）においては、100（％）としてください。  
 ・小麦以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、小麦とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。  
小麦400万円 ÷ (米400万円 + 小麦400万円) × 100 = 50（％）

1 所有地

(1) 作付地

当年産の小麦生産のために作付けた所有地について記入してください。  
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	小麦負担割合 (%)	地目	
					田	畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2					○	○
3					○	○
4					○	○
5					○	○
6					○	○
7					○	○
8					○	○
9					○	○
10					○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産の小麦生産のために作付けた借入地について記入してください。  
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	支払地代 (円)	小麦負担割合 (%)	地目	
						田	畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○
2						○	○
3						○	○
4						○	○
5						○	○
6						○	○
7						○	○
8						○	○
9						○	○
10						○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	小麦負担割合 (%)
1		ha a .	ha a .	
2				
3				

当年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、  
 ・小麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。  
 ・小麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	小麦負担割合 (%)
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2					
3					

**【12】作業別労働時間**

当年産の小麦生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。  
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。  
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

**1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間**

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。  
 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）											麦踏み
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破碎、麦など、ほ場見回り											管理
防除	農業散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊しを含む。）、麦稈の処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

**2 支払賃金**

当年産の小麦生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	小麦負担割合（%）
合計		

・小麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・小麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。



調査にご協力いただき、ありがとうございます。  
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆(※1)の生産コスト」を把握する調査です。  
調査票には、〇年産の大豆の生産(※2)のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※1 大豆とは  
普通大豆、特定加工用大豆及び種子大豆(黒大豆は除きます。)が該当します。

※2 この調査での大豆の生産とは  
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

### 【調査票の記入方法(大豆負担割合について)】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。  
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

(記入例)

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「2ha」、水稲「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	大豆負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

大豆負担割合には100%と記入

例2 大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

大豆と水稲の作付面積割合「2:8」を目安に大豆負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	大豆負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	100000	20

大豆負担割合には20%と記入

### 【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

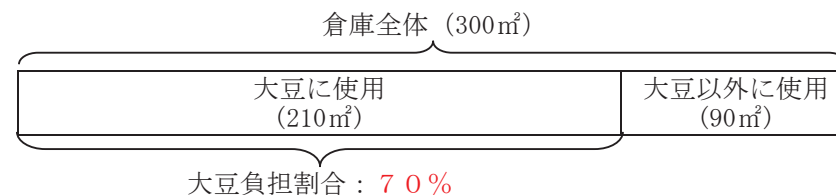
#### (1) 倉庫(建物)の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち大豆生産のために210㎡、大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は70% (210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫(300㎡)の負担割合のイメージ図



#### (2) 農機具(トラクター)の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち大豆生産のために80時間、大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は40% (80時間÷200時間×100) になります。

# 調 査 事 項

ページ

【1】 経営の概況 .....	3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、大豆生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況 .....	5
大豆の品質・用途別の販売状況等、選別により除かれた大豆等の状況について記入してください。	
【3】 大豆の生産のために使用した資材等 .....	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライセンス料等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担 .....	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費 .....	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 .....	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 .....	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 .....	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 .....	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 .....	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代 .....	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間 .....	15
構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

## 【1】 経営の概況

### 1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

### 2 構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	人 数 等	単 位
構 成 員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者		人
農 業 年 雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		人
構 成 農 家 世 帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。例えば、同じ農家世帯から出資者が2名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「1」戸になります。

### 3 認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。  
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

### 4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における大豆の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、普通大豆、特定加工用大豆、種子大豆です。  
黒大豆は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 大豆生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
全 作 業		a
耕うん・整地		a
は 種		a
防 除		a
刈 取・脱 穀		a
乾 燥・調 製	万 千 百 十 . 0	kg

(2) 委託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
耕うん・整地		a
は 種		a
防 除		a
刈 取・脱 穀		a
乾 燥・調 製	万 千 百 十 . 0	kg

6 大豆の品種別作付面積

当年産に作付けた大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		
品 種 2		
品 種 3		
品 種 4		
品 種 5		

注：面積の合計が当年産の大豆作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

当年産の大豆栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 新たな設備・機械の導入

(3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【2】生産物の販売等の状況

1 大豆の品質・用途別の販売状況等

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。  
 また、1等、2等、3等・規格外及び特定加工用について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。  
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 ( 円 )
販 売 用  ( 予 定 を 含 む 。)  ( 大 豆 )	1 等 (計)			
		農産物検査において「1等」と判定されたもの		
	2 等 (計)			
		農産物検査において「2等」と判定されたもの		
	3等・規格外 (計)			
		農産物検査において「3等」又は「規格外」と判定されたもの		
	特定加工用 (計)			
		特定加工用大豆として農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの (豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆。)		
	そ の 他	種子用のほか、普通大豆や特定加工用と同等の品質を有するもの		
	組 織 内 消 費	食用に仕向けた (予定を含む。)もの		
	種子用に仕向けた (予定を含む。)もの			
	食用、種子用以外に仕向けた (予定を含む。)もの			

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 選別により除かれた大豆等の状況

当年産の大豆生産で発生した、選別により除かれた大豆等の状況について記入してください。  
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 ( 円 )
販 売 用	販売した (予定を含む。)もの		
組 織 内 消 費	組織内に仕向けた (予定を含む。)もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。



自由記入欄

### 【3】大豆の生産のために使用した資材等

#### 1 種苗費

当年産の大豆生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

#### (1) 種子（購入）

品 種 名 等	数 量	単 位	金 額（円）			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

#### (2) 種子（自給）

品 種 名 等	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

SAMPLE

【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の大豆生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				大豆負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
(炭酸カルシウムを含む)								
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。

SAMPLE

微生物資材、液肥、農業入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	大豆負担割合（%）
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのままき込んだ分を除いて記入してください。  
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）				大豆負担割合（%）	備考欄
	万	千	百	十		
計						
殺虫剤						
殺菌剤						
殺菌剤 殺虫						
除草剤						
その他						

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農業代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。  
 2：除草剤等農業入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他。」）」に記入してください。

### 【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

#### 4 光熱動力費

当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
購入（計）			—		
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
	電力料		—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

#### 5 諸材料費

当年産の大豆生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
購入（計）			—		
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

・大豆のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

#### 6 賃借料及び料金

当年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
計			—		
共同負担金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。  
 注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

#### 【4】物件税及び公課諸負担

##### 1 物件税

1年間に負担した大豆生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 ( 円 )	大豆 負担割合 (%)
計		
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：  
**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

##### 2 公課諸負担

1年間に負担した大豆生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 ( 円 )	大豆 負担割合 (%)
計		
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (大豆作部会等の各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

#### 【5】土地改良及び水利費

当年産の大豆生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

##### 1 土地改良区費

事業種類	大豆作付ほ場負担金額 (円)		大豆 負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土 抜かない事業)			

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

##### 2 水利費等

費用名等	大豆作付ほ場 負担金額 (円)	大豆 負担割合 (%)
水利に係る費用計		

#### 【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみの生産に係る金額を記入する場合は、100 (%) としてください。  
 ・大豆以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	大豆 負担割合 (%)
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。  
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。  
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用  
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用  
 ・建物の電灯や電球の交換費用  
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	大豆負担割合 （%）	年内異動状況	
						年 （西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） 売却金額、取り壊しの金額
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														



種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライセンスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード				
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)				
1	木造	6	木造モルタル	9 鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10 骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11 造骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック			
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)				
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5 合成樹脂
		3	木造	6 塩化ビニール
		4	土管	7 その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。  
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～  
 「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式		耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費（円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料（円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税（円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）		当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		大豆負担割合（%）	年内異動状況		
			新	古		年（西暦）	月				自動車重量税（円）	自賠責保険（円）	異動コード	売却金額（円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）				
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		



種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。  
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。  
・農業機械の修繕、整備費用、部品代  
・パソコン等の修理費用、部品代 など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） <small>購入金額から補助金を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤強化準備金 （円） <small>農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 （円） <small>当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。</small>	保険料 （円） <small>当年の当該農業機械の保険料を記入してください。</small>	軽自動車税 （円） <small>当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		大豆負担割合（%）	年内異動状況	
						年（西暦）	月						自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） <small>（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	



種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
23	大豆収穫機
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器
33	ドローン

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

**【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等**

当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。  
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				大豆負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				大豆負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料



【11】 土地の面積及び地代

当年産の大豆の収穫が終わる前の1年間に、  
 ・大豆のみ作付けた団地（ほ場）においては、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、大豆とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に小麦と大豆を作付けており、過去1年間における作物別の収入が小麦300万円、大豆200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。  
 $大豆200万円 \div (小麦300万円 + 大豆200万円) \times 100 = 40 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の大豆生産のために作付けた所有地について記入してください。  
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		大豆負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産の大豆生産のために作付けた借入地について記入してください。  
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)	大豆負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a			田	畑
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

当年産の大豆の収穫が終わる前の1年間に、  
 ・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	大豆負担割合 (%)
		ha a	ha a	
1				
2				
3				

(2) 建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	大豆負担割合 (%)
		ha a	ha a	万 千 百 十	
1					
2					
3					

**【12】作業別労働時間**

当年産の大豆生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。  
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。  
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

**1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間**

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。  
 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等											育苗
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植											定植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
収穫	刈取、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

**2 支払賃金**

当年産の大豆生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	大豆負担割合（%）
合計		

・大豆生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。  
 ・大豆生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。